

# 保護者、教員、子供が一体となった防災講座、訓練等を実施

- 協議会の取組として、「大分市立戸次中学校のふれあいPTA」で、生徒、保護者、教員の約600人と一緒に防災講座を実施しました。(H28.11.27)
  - 協議会の構成員である大分市や大分地方気象台、国交省から防災に関する説明の後、ワークショップ形式による通学路における防災マップづくりも実施しました。
  - 講座終了後には、学校、PTAによる生徒引渡し訓練や、非常食づくり・試食体験等が実施されました。
  - 参加者からの感想やアンケート結果等を踏まえて、今後の取組にも活用したいと考えています。
- ※出前講座の実施状況は、大分県教育委員会等のHPでも取り上げられました。



会場の状況



各機関による防災講座



防災マップづくり



PTAによる非常食作り・試食体験

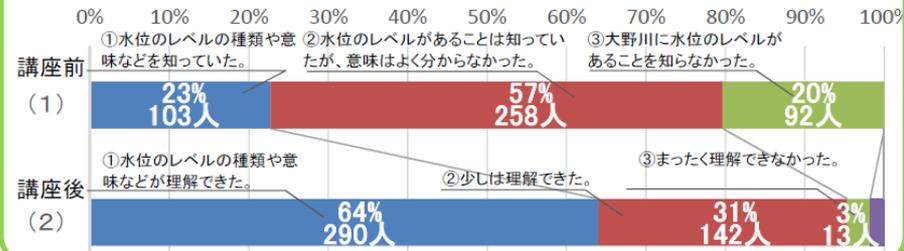
## (参加者からの感想)

- ・親子で勉強することで、お互いが理解できて良かった。子供の目線は保護者と違って勉強になった。
- ・川の水位レベルを、テレビやネットで知ることが出来ると知らなかった。帰って見てみたい。

## 出前講座のアンケート結果

### 2. 国土交通省の「大野川における過去の洪水被害や防災への取組」の講座

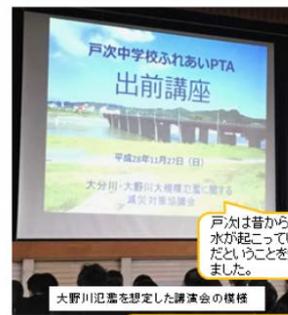
- (1) 今回の講座に参加する前に、水位のレベルについてご存じでしたか？
- (2) 講座を受けて、水位のレベルについて理解できましたか？



## 後藤の「この実践に学びたい」(22)

## 大分県教育委員会HPより

「日常に潜むリスクを見ぬけ! ~親子で取り組む戸次中の防災教育~」



戸次は昔から何度も洪水が起こっている地域だということを知らせました。

大野川氾濫を想定した講演会の模様



学校、職場と離れて被災する想定をして、親子の引き取りカードを使って行いましたが、こういう取組を知ってとても安心しました。(保護者)



最後にみんなで食べた非常食も、思いのほか美味しかったので、とても良い経験になりました。